

CAMPUS COMMUNICATION

CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌【セロリ】

2012

1

January

No.82



交流

街のあちこちで広がる「交流の輪」

◎第45回・霜月祭レポート ◎甲斐 諭 学長 就任メッセージ

交流

中村学園と地域。

積極的に交流することで

お互いが得られるメリットは大きい。

学生にとっても、

子どもからお年寄りまで、

地域の幅広い世代の人々と触れ合うことは、

きっと自身の成長につながるだろう。

交流によって生まれる笑顔と笑顔。

学生の学びの場は

決してキャンパスだけではない。

CONTENTS

02

和太鼓部「キラキラザ輝来響楽座」
インタビュー

03

街のあちこちで広がる「交流の輪」
中村学園大学・同短期大学部 &
福岡市城南区役所

05

第45回・霜月祭レポート

07

甲斐諭学長就任にあたって

08

平成24年度
入試結果・お知らせ

深まる地域の方々との交流。
和太鼓の素晴らしさをこれからも伝えていきたい。



キラキラザ
●和太鼓部「輝来響楽座」部長 岡田 実希さん
中村学園大学 人間発達学部2年

私たちが和太鼓部は週3日、1日約3時間、練習しています。部員は大所帯で約60名の学生が在籍していますが、ほとんどの学生が入学してから和太鼓を始めた初心者です。部員は家族のようなつながりがあり、和気あいあい、毎回楽しく練習しています。

日頃の練習の成果を発揮する場合はさまざまです。学内では入学式や霜月祭などに出演、学外では、福岡を拠点に活動している和太鼓グループが一同に集う「博多和太鼓フェスティバル」などの発表会にも毎年参加しています。そして最も多いのが、地域イベントや地域の施設などで演奏することです。

大学近郊の別府小学校や鳥飼小学校の夏祭りにも毎年参加させていただいていますが、迫力ある和太鼓の演奏に子どもたちは目をキラキラさせながら見入ってくれます。また、近くの特別養護老人ホームでも時々、演奏しています。最初は和太鼓の音の大きさに驚かれるお年寄りの方もいらしましたが、最近は演奏に合わせて手拍子をしてくださって、とても楽しんでもらえています。演奏後、お話しする機会もありますが、毎回「来てくれてありがとう」ととても良かったです」などの言葉をかけていただき、私たちのやりがいにつながっています。

このように和太鼓を通して地域のさまざまな人々と交流することで、少しでも地域貢献できていることを嬉しく思います。私自身も多くの社会人の方々と知り合いになることができ、和太鼓のおかげでとても充実した大学生活が過ごせています。和太鼓の素晴らしさに感動していただけるのは、私たちにとって快感です。これからも部員みんなが地域の方々に楽しさを伝えていきたいと思っています。



CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部
広報誌【セロリ】

2012.1 January

No.82



09

わがゼミ案内

短期大学部 食物栄養学科
松隈 美紀ゼミ

10

活躍する卒業生

11

EVENT and NEWS

17

チャレンジするナカムラ生
フラダンスサークル

18

クラブ&サークル
男子バレーボール部

“いま、中村学園大学・中村学園大学短期大学部では、城南区をはじめ福岡市民の方々との交流を深めるさまざまな活動が行われています。清掃活動やボランティア、イベントスタッフなど、学生が地域に溶け込むことで街に活気が生まれ、学生自身もさまざまな人との触れ合いのなかでかけがえのない経験を得ることができます。こうした交流の橋渡し役として、本学の学生課、そして城南区役所の皆さんが活動をバックアップしています。

社会との関わりが、 学生たちを 一回り成長させてくれる。



中村学園大学・中村学園大学短期大学部 学生課 課長

松岡 忠行さん

中村学園では、「教育」「研究」はもちろん、「社会貢献」も重要な使命の一つと考えています。大学にある人や物といった資源を活用し、地域に開かれた大学として地域社会と連携し、共生する役割が期待されています。

こうした前提を踏まえ、本学では公開講座など、各学部・学科の特質を生かした社会貢献を展開。栄養科学部を主体にした連携事業では、健康増進センターが主となって毎年「健康栄養クリニック」を開講。発達支援センターでは、幼児・児童の発達に関する臨床クリニックと、保育・教育に関わる講座を定期的に開催しています。更に、アジア栄養科学ワークショップや流通科学研究科セミナーなどの取り組みと合わせて、本学が有する栄養・教育・流通とい

う3つの専門分野の特長を生かした活動を進めています。

学生たちが自主的に行う交流活動においては、幼稚園・小学校での教育支援や地域コミュニティ活動への参画、環境美化活動やボランティアなどがあります。学生たちはこうした活動を通して、社会と接点を持つことにより、「人や社会のために役立つこと」を体感。ボランティアを始めたとした地域連携活動においては、個人の「自己実現の場」、あるいは「人間的成長の場」として、活動を通して学生たちは人間として大きく成長しています。活動を経験した学生からは「社会に対する視野が広がった」「充実感が得られた」「友人が増えた」などの声が聞かれ、人や社会のために役立つこと、あるいはそれ以上の意義を見出しているようです。

地域のニーズと学生たちの活動とのマッチングを行って、交流の場を広げていくのが学生課の役割だと思っています。これからのいろんな出会いの場を増やして、学生と地域の皆さんの交流をサポートしていきたいと考えています。



子どもの遊び場づくり
「鳥飼チルドレンズミュージアム」
に学生が参加



城南学園通りを華やかにパレードするパトン部



地域の老人ホームで定期的に演奏している吹奏楽部



子どもたちに食の大切さを伝える
「べふっこ広場親子クッキング」に学生が参加

街のあちこちで広がる「交流の輪」

学生さんと地域の皆さんとの
交流が深まれば、
街はもつと活気づくはず。

福岡市城南区役所 区政推進部 企画振興課

馬場 しのぶさん
高着 さとみさん

城南区では、「若人が活躍する活気あふれるまち」を、将来像の一つに掲げています。区には福岡大学もあり、中村学園大学と福岡大学を結ぶ道路は、大学のあるまちづくりのシンボルロード「城南学園通り」として位置づけられています。両大学に在籍する学生数は約2万5千人。区の人口の約2割に相当し、街のエネルギーとなる大きな柱であることは間違いありません。

城南区と中村学園大学・中村学園大学短期大学部との共働事業が本格的に始まったのは、平成15年から。子育て支援事業である「のびのび夢ひろばじょうなん」やパネルシアターによる「手洗い教室」、食の安全について学ぶ「食のリスクコミュニケーション」など、学生さんに参加していただきながら、さまざまなまちづくり事業を行ってきました。

中村学園大学は栄養学や児童教育学など、人々の暮らしに密着したものを学問として学ぶ環境があります。

そうした大学の持っている専門性を地域に還元することは、地域の方々の暮らしにも大いに役立ち、何より学生さんの柔軟な発想は、地域コミュニティを盛り上げてくれます。また、学生さんたちも地域の中に入ること、高齢者や子どもたちなど、いろんな世代の人と関わることで、社会性やコミュニケーション能力を磨くこともできるでしょう。

こうした地域活動をきっかけに大学と地域の方々、そして行政が一体となつて地域ぐるみの交流を広げていければ、街にもつと活気が生まれるはず。今後も学生さんと地域の皆さんのつながりをさらに深めていけるよう、城南区役所がその橋渡しの役割を担っていければと思っています。



3歳児健診時に実施される保健所の「手洗い教室」には児童文化部が参加



城南区内の公園情報「外遊び応援マップ」作りにも学生が参加



外遊びができる子育て支援事業「のびのび夢ひろばじょうなん」に学生が参加



城南区役所の馬場さん(左)と高着さん(右)。城南区のシンボルキャラクター 油山の妖精「ニコりん」とともに

第45回

霜月祭

11月

3日

Thursday

4日

Friday

5日

Saturday

第29回 ミスキャンパスコンテスト

(体育館)

毎年恒例のミスキャンパスコンテスト。今年は10名の美女たちがエントリーして、それぞれの美しさと個性を競いました。今年の新企画は「部屋着で彼氏に電話」。部屋でリラックスしながら彼氏に積極的な内容の電話をするシチュエーションです。「今から会いたい」などの甘しさやきに、彼氏役の男性は大照れ…。最終審査は定番のウエディングドレス。10人それぞれがチョイスしたお気に入りのドレスで登場すると、場内からは大きな歓声が起こりました。今年のミスキャンパスに輝いたのは、大寺里奈さん(キャリア開発学科2年)。準ミスは大塚優香里さん(流通科学部3年)でした。ミスキャンパスに選ばれた大寺さんは「自分が選ばれるなんて…」ととまどいながらもにっこり。

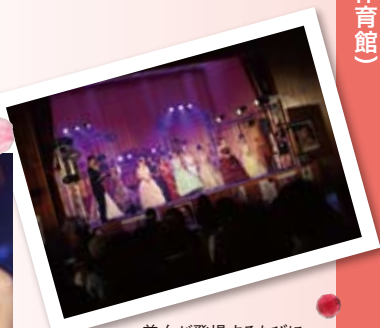
盛大に開催された歴史あるミスキャンパスコンテスト。次の霜月際ではいよいよ第30回を迎えます。



【ミスキャン】大寺里奈さん



【準ミスキャン】大塚優香里さん



美女が登場するたびに会場からは大きな歓声のため息が

元氣いっぱい！
みんなの絆が深まった
学園祭!!

学内が一年で一番熱くなる「霜月祭」。忙しい学生生活の合間を縫って、学園祭実行委員をはじめ、サークルやゼミの学生が準備を重ね、今年も大成功を収めました。楽しさに満ちた、中村パーワー全のお祭りをレポートします。



中村ナンバーワンのお笑いを決めるN-1グランプリ。お笑い自慢の学生が大集合、会場に詰めかけた観客を笑いの渦へ巻き込みました。



鍛えた腕前を発揮する漫才コンビ



みんなでワイワイ!面白さ爆発の大喜び

N-1グランプリ

(野外ステージ)



優勝した井上和志さん

毎年恒例ののど自慢大会。エントリーした6組はいずれも実力者ぞろい、会場となった野外ステージは大盛り上がり。激戦の中、優勝したのは平井堅の「LIFE is…」を熱唱した井上和志さんでした。



多くの観客が集まった野外ステージ

のど自慢大会

(野外ステージ)



★焼きちゃんぽん

学園祭実行委員会総合製作パートによる大人気の焼きちゃんぽん屋台。「笑顔で声を出すことをモットーに頑張っています」とパート責任者の流通科学部2年の西園早紀子さん。

具がたっぷり入った焼きちゃんぽん



作るのが間に合わないほどの売れ行き



1杯
200円



4種の味が
楽しめるのが
ポイント!!



セールスポイントは「仲の良さ」

★焼きドーナツ

和気あいあい、楽しそうにお店を出していたバドミントン同好会。「毎年焼きドーナツにしています。ヘルシーでおいしいですよ。出店は仲間同士の絆を深めるいい機会です」と流通科学部2年の太田侑紀さん。同好会については「仲のいい同好会です。大学からバドミントンを始めた初心者も多いですよ」と語ってくれました。

★トルティーア

メキシコのホットドッグであるトルティーアを販売しているのは学園祭実行委員会ステージパートのメンバー。「3日で1,500個完売が目標です」と食物栄養学科2年の小倉千聖さん。「調理室で作っていますが、作るのが追いつかないほど売れています。嬉しい悲鳴ですね」



「おいしい」と評判で、毎日来る人もいるとのこと

ソーセージをカリッとした皮で巻いた逸品



1個
200円

★雑貨

女子寮「曙寮」の寮生が販売していたのは手作り雑貨。かわいいグッズは学生だけでなく子どもたちにも大人気でした。フリープライスで販売しているという人間発達学部3年の平田杏奈さん。「売り上げで、みんなの寮生活に役立つモノを購入したいと思っています」



ショップ名は「MADE in あけぼの」



すべて寮生の手作りグッズ

食育館では、書道部と華道部による作品展示が行われ、見応えある作品が並びました。力作が揃った館内は、華やかな雰囲気になっていました。



作品展示

(食育館)

「彩りの秋」をテーマにした、裏千家茶道部によるお茶会。一般の方、他大学の茶道部の方など、多くのお客様をおもてなししていました。



お茶会

(学友会館)

地域の方々にお願いして古着や陶器などの不用品をいただき、来場者に販売。売上金は城南区福祉協議会などに寄付するそうです。



チャリティバザー

(学友会館)



学長就任にあたって

2011年11月1日、
中村学園大学・同短期大学部の
学長に就任された甲斐 諭教授に
中村学園に寄せる思いや、
新たな学園づくりへの意気込みを
語っていただきました。

■プロフィール

昭和48年九州大学大学院農学研究科農政経済学専攻博士課程修了。農学博士。主要研究領域は、食料の生産と流通の国際比較研究。九州大学農学部助手、同助教授、同教授を経て退官(名誉教授)。平成20年4月より中村学園大学流通科学部教授、同大学流通科学研究所長。平成22年同大学院流通科学研究科長。平成23年11月中村学園大学・同短期大学部学長に就任。



か い さとし
甲斐 諭 学長

「努力の上に花が咲く」 この言葉を、今一度胸に刻んで

本学の短期大学部は、昭和29年の福岡高等栄養学校設立から数えて、開学58年を迎えました。そして大学は、昭和40年の家政学部設立から、開学47周年を迎えました。このように、長い歴史と伝統を持った本学の学長を拝命し、身の引き締まる思いがしています。

学園づくりを進めていくうえで、私が最も大事にしたいと考えているのは、この学園で創設当初から受け継がれている建学の精神です。「清節」「感恩」「労作」は、いかに時代が移り変わるうとも大切にしなければならない、人としての指針を表しており、若い学生・院生の皆さんにこそ、この言葉をぜひ胸に留めておいて欲しいと思っています。

また、学園祖・中村ハル先生の「努力の上に花が咲く」という言葉も、大切な教えです。生きていくうえで、どんなにパソコンなどの技術が向上しても、中身の人間性が豊かでなければ、充実した人生を送ることはできません。ですから、折に触れ、この建学の精神やハル先生の言葉を思い返し、原点に立ち返りながら学業や自身の大学生活を有意義なものにして欲しいと思います。

地域に、そして社会に 信頼される学園づくり

現在は就職状況がたいへん厳しい時代にあります。現在の就職活動にも通じるものがあります。いくら面接

官の前で取り繕ってみても、付け焼き刃的な態度はすぐに見抜かれてしまうものです。やはり、平素の努力が重要であり、日々学生・院生自身がどう生きているのか、その結晶が就職活動にも表れてくるものです。ですから、普段から知識を磨くだけでなく、責任感やコミュニケーション力も身につけて、自身の根本の部分を鍛えておいて欲しいと思います。

本学は西日本では確かなブランドを確立しており、それは地域の信頼があつてのもので、大学からも地域社会に信頼されることが、大学の発展していく基盤だと考えます。研究においても、地域が抱える課題に取り組み、社会に貢献できる研究を展開し、その成果を学生・院生の教育にフィードバックしていくことが非常に大切だと考えています。また、本学の位置する福岡はアジアのゲートウェイですので、地域だけでなくアジアというグローバルな視点も備えた「グローバル」(グローバル+ローカル)の考えのもと、広い世界で活躍できる人材を育ていきたいと思っています。

少子化に伴って、大学の置かれる環境は厳しくなつていと言われておりますが、幸い本学はこうした状況においても多くの方々、そして地域の方々に信頼いただいており、充実した教育環境を維持しています。これも、本学がこれまで積み上げてきた実績とブランド力があるからこそと自負しております。これからの50年、100年に続く本学の中間ランナーのひとりとして、私自身もなお「層勇往邁進して参りたい」と思います。

平成24年度 入試結果

※競争率は、受験者数／合格者数（小数点第3位以下を四捨五入）

●中村学園大学大学院

研究科	専攻	課程	区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
栄養科学研究科	栄養科学専攻	博士前期課程	推薦	6	3	3	3	1.00
		博士前期課程	一般（1次）		0	0	0	0
		博士後期課程	推薦	3	0	0	0	0
流通科学研究科	流通科学専攻	修士課程	推薦	10	7	7	7	1.00
		修士課程	一般（1次）		1	1	1	1.00
		修士課程	社会人（1次）	1	1	1	1	1.00
人間発達学研究科	人間発達学専攻	修士課程	推薦	5	1	1	1	1.00
		修士課程	一般（1次）		0	0	0	0
		修士課程	社会人（1次）	1	1	1	1	1.00

●中村学園大学（推薦入学選考）

学部・学科	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
栄養科学部	公募	50	146	146	58	2.52
	併設校	20以内	20	20	18	1.11
栄養科学科	指定校	20	28	28	28	1.00
	公募	80	175	175	102	1.72
教育学部	併設校	15以内	15	15	13	1.15
	公募	25	61	61	47	1.30
流通科学部	併設校	40以内	38	38	37	1.03
	指定校	45	74	74	74	1.00

●中村学園大学短期大学部（推薦入学選考）

学 科	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
食物栄養学科	公募	37	82	82	62	1.32
	併設校	10以内	10	10	10	1.00
	指定校	63	61	61	61	1.00
キャリア開発学科	公募	10	24	24	21	1.14
	併設校	15以内	15	15	14	1.07
	指定校	110	114	114	114	1.00
幼児保育学科	自己推薦	5	8	8	7	1.14
	公募	75	112	112	92	1.22
	併設校	15以内	15	15	15	1.00
	指定校	60	71	71	71	1.00

入学試験のお知らせ

●中村学園大学大学院 栄養科学研究科（博士前期課程）

区分	試験日	募集人員	出願期間
第2次試験入学選考	平成24年 2月18日(土)	6名	平成24年1月23日(月) ～2月3日(金)
外国人留学生特別選考			平成24年1月16日(月) ～2月3日(金)

※募集人数：推薦・第1次試験入学選考含む

●中村学園大学大学院 栄養科学研究科（博士後期課程）

区分	試験日	募集人員	出願期間
後期試験入学選考	平成24年 2月18日(土)	3名	平成24年1月23日(月) ～2月3日(金)

※募集人数：前期試験入学選考含む

●中村学園大学大学院 流通科学研究科（修士課程）

区分	試験日	募集人員	出願期間
第2次試験入学選考	平成24年 2月18日(土)	10名	平成24年1月23日(月) ～2月3日(金)
第2次社会人特別入学選考			平成24年1月16日(月) ～2月3日(金)
外国人留学生特別選考			平成24年1月16日(月) ～2月3日(金)

※募集人数：推薦・第1次試験・第1次社会人特別入学選考含む

●中村学園大学大学院 人間発達学研究科（修士課程）

区分	試験日	募集人員	出願期間
第2次試験入学選考	平成24年 2月18日(土)	5名	平成24年1月23日(月) ～2月3日(金)
第2次社会人特別入学選考			平成24年1月23日(月) ～2月3日(金)

※募集人数：推薦・第1次試験・第1次社会人特別入学選考含む

●中村学園大学

種 別	試験日	学部・学科	募集人員	出願期間
試験入学選考（後期日程）	平成24年3月5日(月)	栄養科学部	5名	平成24年 2月17日(金) ～ 2月28日(火)
		栄養科学科		
		教育学部	5名	
		児童幼児教育学科	5名	
大学入試センター試験利用入学試験（後期日程）	①平成24年度大学入試センター試験の成績を基に合否判定を行う。 ②本学の個別学力試験は課さない。	流通科学部	5名	平成24年 2月17日(金) ～ 3月6日(火)
		流通科学科	5名	
		栄養科学部	3名	
		栄養科学科	3名	

●中村調理製菓専門学校

区分	試験日	出願期間
第6回入学試験	平成24年3月4日(日)	平成24年2月13日(月) ～3月1日(木)
第7回入学試験	平成24年3月24日(土)	平成24年3月5日(月) ～3月22日(木)

★1日体験入学：平成24年1月22日(日)、2月19日(日)、3月31日(土)、11:00～15:00

●中村国際ホテル専門学校

区分	試験日	出願期間
第6回入学試験	平成24年3月4日(日)	平成24年2月13日(月) ～3月1日(木)
第7回入学試験	平成24年3月24日(土)	平成24年3月5日(月) ～3月22日(木)

★1日体験入学：平成24年1月22日(日)、2月19日(日)、3月31日(土)、11:00～15:00

淡々と教えてくれますが、
急に面白いことを話し出す先生です！



短期大学部 食物栄養学科 **松隈ゼミ** (2年生 9人)



アジア各国の精進料理を探究し、 日本の食文化を見つめ直す

日本の食文化についての造詣を深め、今後に役立てていく、それが松隈ゼミの研究テーマ。ゼミ生自らが調べることで食に関して能動的に考える力を養っています。

「食文化に関する研究」がテーマの松隈ゼミ。栄養士、管理栄養士を目指す学生が、食育の環である食文化について研究を行っています。

「日本料理に影響を与えた各国の精進料理について調べることで、日本人が何を食してきたかを知り、現代の食生活の問題の改善点を見出せればと思っています。これは、温故知新の考え方。古き食文化を温め、新しい食文化を知るということです」と語る松隈先生。「自ら学ぶ積極的な姿勢が年々薄れてきている」と、学生たちの現状を危惧する松隈先生は、講義だけではなく学生が自分で調べるというゼミ形式にしています。韓国、中国、インド、そして日本の各国でどのような精進料理があるのかをグループで調べて発表する内容です。「各自が調べることで、現代の食との関わり方や食の問題に対する

(松隈先生の口癖)
…みたいなの

講師 **松隈 美紀** 先生



解決法などの知識がより深まると思っています。また、ゼミでは発表の機会を設けていますが、調べた内容をいろいろな人に説明できるようにまとめあげること、社会人として必要なプレゼンテーション能力も養うことができると考えています」。

そんなゼミの方針にゼミ生たちもやる気を持って取り組んでいるようです。「調べるために図書館に何度も通いました。自分が行動を起こさないと課題が解決できないので、自分の成長のためにも良かったと思います。もちろん、知っておいてためになる食文化の知識も深まりました」とは、ゼミ生の言葉。グループで調べるために、他者との協調性も培われたということでした。

松隈先生も、「最初は精進料理と聞いてピンと来ない学生たちも、調べていくうちに興味がわいて段々と積極的になりました」と、ゼミ生の成長を実感されているようです。

これからは学内だけでなく、実際のお寺などの精進料理を取材に出かけたいと語る松隈先生。「栄養士になるにしても、管理栄養士になるにしても、他の仕事に就くにしても、また家庭の主婦になるにしても、食を扱う者として、相手の立場になって物事を考えられる人間になって欲しいです。相手のことを常に考えて食を提供できるような社会人になっ

て欲しいですね」と、最後にゼミ生の将来について、やさしい眼差しで語ってくださいました。

活躍する卒業生

Graduate of Nakamura



税理士法人 福岡中央会計

限 和宏さん

平成22年3月 中村学園大学
大学院流通科学研究科修了

大学院での幅広い学びが、 税理士の仕事に活かされています。

私が税理士の道を選んだのは、父がクリニクの経営者で、税理士に相談している姿を見ていたことがきっかけでした。税理士を心から頼りにしている父の姿を見て、私もそういう存在になれたらと思います。この道を目指すようになりました。ちなみにその時、父がお世話になっていた税理士さんが、いま私の働いている福岡中央会計の瀬戸所長でもあります。

税理士の資格を取るために、私は、中村学園大学の大学院流通科学研究科に進みました。税理士の資格を取得するには5科目が必要となりますが、税理士制度により、大学院を卒業することで一部の科目が免除になります。中村を選んだのは、知人から、この大学にはおもしろい先生がいるという話を聞いたことがきっかけ

です。早速門をたたいて話を伺いました。藤川先生のお話はたいへん興味深く、ぜひこの先生の元で学びたいと思い、中村への受験を決意しました。

大学院での生活は、昼は講義、午後からの空いている時間は自習室で受験勉強の日々でした。楽しい思い出というよりは、自習室にこもりっきりの勉強漬けの毎日だったような気がします。講義では、マーケティングや経営学などを幅広く学ぶことができました。その学びが、現在、コンサルティングという形で活用できていると思います。

大学院在籍中に、現在の福岡中央会計に就職しました。所長の許可を得て、大学院の授業を夜間に集中させて両立するかわちで、勤めながら院に通わせていただき

ました。税理士試験に合格したのは、大学院を卒業してから1年9カ月後のこと。合格が分かった時は家で叫びながら喜びましたね。

現在の仕事は、会社で例えるなら決算や月々の報告といったところでしょか。顧客は20件くらい担当しており、毎年12月から5月までが繁忙期にあたります。業務のうえで大切にしているのは、お客さまの要望を聞き出して最高の選択肢を提供すること。そういった点では、コミュニケーション能力が求められます。自分はまだまだ未熟なので、先輩に付いて技術を盗んで、自分のものにできればと思っています。税理士になって約1年。経験はまだまだですが、以前にも増して向上心が高まり、所長のようになりたいという思いがさらに強くなっています。

後輩の皆さんへ偉そうなことは言えませんが、二つだけ伝えたいのは、自分がいろんな方に支えられていることに感謝して欲しいということです。周りの家族だけでなく、学ぶ環境や社会も含めてあらゆるものが自分の支えになっている。だから就職した時には、ぜひ家族、そして社会にも恩返しできるような人間になっていただきたいと思っています。



限さんが税理士になって1年。
これからの目標は
「医業に強い税理士になること」。

上司からのメッセージ



税理士法人
福岡中央会計 所長

瀬戸 英晴 様

◎ 限さんについて

私もではドクターの奥さまを対象にした塾を年に2回開催しています。限さんにはそのアシスタントも担当してもらっています。彼には受講者の方に講演内容の希望を聞いてもらったり、感想を聞いてもらったりしていますが、受講生の方々の話にすごく熱心に耳を傾けメモをとっている彼の姿を見て、非常に勉強熱心だと思いました。彼の印象は、まじめで素直。人として一番大切なものを持つているような気がします。今は何事も吸収する時期で、それはお客さまからであったり、先輩からであったりするでしょう。いつか偉い立場に立つたとしても、そういう姿勢をずっと忘れないで欲しいですね。

◎ 就職活動全般について

私はこれまでに数多くの面接をしてきました。その際、「私は勉強します」とアピールされる方が多いですが、この言葉は経営者にはなかなか響いてこないと思います。当たり前のことですが、「組織に迷惑はかけない形で勉強を継続的にします」と言って欲しいですね。経営者は、そういう気遣いができるかどうかを見ています。10年後に自分がどうなりたいか、確固たるビジョンを持つて就職活動をしてもらいたいと思います。

流通科学研究科セミナー

平成23年12月21日、西4号館において大学院流通科学研究科セミナーが開催されました。流通科学研究科は、研究指導を中心としながらも大学院修士課程に対する社会的要請並びに専門家育成に對する流通分野の産業界からの要望に應えて、次代を担う流通科学のプロフェッショナル



小川 洋 福岡県知事



ルを育成することを目標としています。本セミナーは、大学院生の教育の一環として、ビジネスの実際に触れる機会を提供するために、企業、地域の皆さまにもご案内し、地域貢献事業の一環として開催しています。

今回は、講演者に小川 洋福岡県知事をお招きし、「福岡県の活性化と若者への期待」と題して福岡が今後ますます発展・成長していくためには何が必要であるか、若者に何を期待されているかなど、福岡県の目指すべき将来像を語っていただきました。

また、セミナー終了後の懇親会へも多数の方にご参加いただき、産官学の連携、現代の流通の動きについて、より認識を深め合う場となりました。



右は中村理事長



酒見 康廣 運営委員長



徳井 教孝 准教授



朱 根勝 准教授



郭 忻 教授



曹 貞淳 教授



三成 由美 教授



内山 文昭 所長



甲斐 諭 学長

プログラム

「薬膳を食べて学んでヘルシーライフ
ーきちんと食べてきちんと出すー」

■開会挨拶 中村学園大学 学長 甲斐 諭

■講演

●薬膳科学研究所のあゆみ

中村学園大学薬膳科学研究所 所長 内山 文昭

●日本型薬膳のすすめ

中村学園大学薬膳科学研究所 教授 三成 由美

●韓国における便通改善薬膳

明和大学 教授 曹 貞淳

●中国における便通改善薬膳

上海中医薬大学 教授 郭 忻

●便秘と体質

上海中医薬大学 准教授 朱 根勝

●「食べて出す」健康づくり

産業医科大学健康予防食科学研究室 准教授 徳井 教孝

■閉会挨拶

中村学園大学薬膳科学研究所 運営委員長 酒見 康廣



平成23年12月3日、福岡市博多区にあるパピヨン24ガスホールにおいて、第10回薬膳市民公開講座「薬膳を食べて学んでヘルシーライフーきちんと食べてきちんと出すー」が開催されました。

今回は10年の節目にあたり、命の営みを支える食を再考するために、「適切に食べて排便する」ことの大切さについて日中韓の薬膳の専門家による記念講演が行われました。



第10回薬膳市民公開講座

※敬称略、肩書き等は開催日現在のもの

◆パネル展示…産学連携による食育活動と共同研究成果
(会場エントランスに展示)

実施内容

■ 流通科学部

- ・入学前の心構え
- ・入学前教育について
- ・問題集配付
- ・数学授業

■ 短期大学部

● 食物栄養学科

- ・大学生生活の流れ
- ・勉強の仕方、シラバス、履修指導、栄養士の仕事と心構え
- ・入学前学習ドリル配布と内容説明

・在学生との交流会

● キャリア開発学科

- ・大学生生活の楽しい過ごし方（高校と大学の違い）
- ・事前教育課題の配布と指導
- ・在学生との懇談

● 幼児保育学科

- ・オリエンテーション
- ・講義（器楽、声楽）
- ・在学生との交流会

流通科学部「入学前教育」 及び短期大学部プレカレッジ

平成23年12月17日、推薦入試・社会人特別入試合格者を対象に流通科学部「入学前教育」及び短期大学部プレカレッジが実施されました。この取り組みは、入学試験合格後から入学式までの期間、勉強意欲を維持させるため、オリエンテーションや事前課題、在学生との交流会を行い、高校教育から大学教育への円滑な接続を目指し行われるものです。



平成23年度後学期科目として、短期大学部3学科（食物栄養学科・キャリア開発学科・幼児保育学科）それぞれに「短期大学部教養講座」が開講されました。この講義は1年生を対象とし、自分の所属学科以外の2学科の専任教員が講師となるオムニバス形式です。短期大学部の特徴を生かし、毎回違う教員によるそれぞれの専門領域についてわかりやすく、興味深い内容での授業が展開されています。この科目を受講した学生が、所属する学科とは違う専門性に触れ、教養を深め、人間性を豊かにすることが期待されています。

「短期大学部教養講座」が開講されました



発達支援センター 『親子教室』

この取り組みは、子どもの保育・教育原理の研究や実践に役立てる活動の一環として発達支援センターが企画し、地域の親子（1〜2歳児）を対象に毎年開催されています。今年度は、次の4日間の日程で行われました。

第1日目 平成23年10月6日

（本学・発達支援センター多目的ルーム）

開催に先立ち、センター長の挨拶やオリエンテーション、参加親子の自己紹介が行われ、佐々木美智子教授（教育学部）による「子どもの関わり、子どもの育ち」というテーマでミニレクチャーがありました。

第2日目 平成23年10月20日

（本学・発達支援センター多目的ルーム）

中野隆二准教授（教育学部）による「描画と幼児の発達―たくさんスクリブル―」をテーマにミニレクチャーが行われ、プールに見立てた大きな用紙に子ども達に自由に絵を描いてもらい、描いた絵をもとに子ども達の発達の過程を見ました。



第3日目 平成23年10月29日

（中村学園大学付属あさひ幼稚園）

このほか「子育ての悩み」「我が子の自慢」「周囲の人に言いたいこと」について意見を寄せ合い、参加者のコミュニケーションを深めました。



第4日目 平成23年11月10日

（本学・発達支援センター多目的ルーム）

絵本の読みかせや体を使った遊びの後、親子一緒に紙で作るお弁当の製作を行いました。また心理学の観点から野上俊一講師（教育学部）による「子どもは生き物と生きていないものをどう区別するか」というテーマで、子どもの行動に基づく心の発達についてのミニレクチャーが行われました。

参加者からは、「子どもと同室で行われるこの親子教室は、安心して楽しく講義を受けることができました」などの感想が寄せられました。

第20回アジア栄養科学 ワークショップ

平成23年11月19日、西1号館10階大講義室において、第20回中村学園大学大学院アジア栄養科学ワークショップが開催されました。

本ワークショップは平成4年より大学院栄養科学研究科の主催にて毎年実施されており、学内の教職員のみならず、学

外の研究者や市民の皆さまにも多数ご参加いただいています。

本年は栄養科学研究科20周年を記念し、「栄養科学の将来を展望する」をテーマに左記プログラムの内容で、各分野でご活躍の多彩な先生方をお招きし、専門的な視座から講演が行われました。会場からは質問も多数出るなど、充実したワークショップとなりました。



饒 平凡 先生

奥 恒行 先生



高柳 涼一 先生

今泉 勝己 先生



プログラム

【総合司会】 中村学園大学大学院 教授 藤田 守

■開会のあいさつ 中村学園大学 学長 甲斐 諭

■はじめに
栄養科学研究科の21年のあゆみ

中村学園大学大学院 研究科長 中野 修治

■講演

【座長】中村学園大学大学院 教授 津田 博子

1. 21世紀の栄養科学研究の役割と栄養専門家育成
長崎県立大学大学院人間健康科学研究科 教授

奥 恒行

2. 我が国の栄養科学研究の動向

—脂質を中心とした食の立場から—

九州大学 理事・副学長 今泉 勝己

【座長】中村学園大学大学院 教授 太田 英明

3. Translating Chinese Codes of Health
and Wellness into Science

中華人民共和国 福州大学 教授 饒 平凡

4. 福岡コホート研究からみた栄養と生活習慣病

九州大学 理事・副学長 高柳 涼一

■総合討論

栄養科学の将来を展望する

【司会】 中村学園大学大学院 研究科長 中野 修治

■閉会のあいさつ

中村学園大学大学院 研究科長 中野 修治

※敬称略 肩書き等は開催日現在のも

平成23年度筑前町 どろんとかがし祭

「どろんとかがし祭」は、筑前町の自然の恵みに感謝し、収穫をみんなで喜び合う祭です。また、地域住民の連帯と融和を図り、思いがけない発見や感動に出会える祭りでもあります。本学と筑前町の連携協力協定締結をきっかけに、今年は、祭りの企画委員会に中村学園大学の代表として流通科学部3年生身深友祐さんが参加しました。

祭のテーマは筑前町の基幹産業をもとに「食と農」とし、キャッチフレーズは東日本大震災において被災された方々や日本全国に元気を発信し、筑前町の特産物などの全てを祭りでアピールするという意味を込めて「元気発信筑前町づくし!」となりました。

平成23年11月5日に予定されていた前夜祭は、雨のため中止となりましたが、翌日の本祭は筑前町安の里公園一帯で行われ、流通科学部甲斐諭教授ゼミ生を中心に23名の学生がステージ班、特産物試食班などに参加しました。

筑前町の特産品を紹介する「特産品PR」という新イベントでは、役場の方とともに「筑前クロタマル」を紹介。お化け屋敷では、学生たちが本物をつくりのリアルなお化けになり、子どもたちが泣き喜ぶ大人気のイベントになりました。ステージでは太鼓演奏、ヒーローショー、ウルトラクイズ等のイベントが行われ、フィナーレの餅まきで祭は幕を閉じました。祭に参加した学生たちは、企画委員や筑前町企画課の方々、友人の支えを通じて人とのつながりを実感し貴重な体験をしました。



付属幼稚園 だより



幼稚園発祥の地 “ドイツ”での学び

あさひ幼稚園 教諭 二分裕美

2011年夏、私は福岡市私立幼稚園連盟主催の“海外研修”に参加させていただきました。今回の目的は、幼稚園発祥の地“ドイツ”の視察。福岡市内の幼稚園の先生方と7日間にわたって寝食を共にしながら、ドイツの幼稚園を5園も見学させていただきました。

いろいろな園を訪問しましたが、それぞれに特色がある中にあって、どの園でも感じられたのが“子ども一人ひとりの育ちを見つめながら保育にあたっている”ということです。『森の幼稚園』(Wald kindergarten)へ訪問した際には、子どもの持つ力の可能性を引き出せるかどうかは、私たち保育者次第なのだと感じる場面に会えました。どんな天候でも森の中で一日を過ごすという園なのですが、実際に子どもたちと触れ合う機会がもてました。私たちを見ると、「できるよ!」と言わんばかりに工具箱から道具を取り出し、倒れている木の側面を掘ったり、小枝をナイフで削り出しました。保育者は、傍らで子どもの様子を見守っていました。「危ない」と止めさせるのではなく「安全に使うにはどんな使い方をしたらよいのか」を段階をおって経験できる場を作っていました。

あさひ幼稚園でも「可能性において豊かな子どもを育む保育」を目指し、環境を整えたり子どもの育ちに即した経験の場を作っています。子どもの育ちや学びを見つめながら、私たち保育者は、子どものために何ができるのか…。今回の研修を通して、自分自身も“学び続けようとする心”を持つ大切さを改めて実感しました。とても充実して有意義な夏を過ごすことができました。



当日は、中村学園教職員、中村学園大学及び短期大学部同窓会、教職員OB会、そして藤本先生が産業医科大学や久留米大学などの医学部在職時にご指導をなされてきた病院関係者も県内外から多数駆け付けました。藤本先生ご夫妻は、永年のご尽力に感謝する出席者に囲まれ、終始和やかな雰囲気にも包まれた会となりました。



藤本淳先生に感謝する会が開催されました

防災教育研修会が行われました

平成23年12月26日、教職員を対象に防災教育研修会が行われました。

本学自衛消防隊長である甲斐学長の挨拶に始まり、城南消防署の山下署長を講師に迎え、「東日本大震災から学ぶこと」福岡は大丈夫なのか?」をテーマにお話いただきました。

研修会では、昨年3月11日に発生した東日本大震災の様子や津波の威力について説明され、壊滅的な被害の様子や福岡県緊急消防援助隊による不眠不休の救助活動、避難所での救護活動などの実体験が紹介されました。

震災心得の5つのポイント

- 1 震災は、どこでも起こります。
- 2 大きな被害になるかも知れないと認識する。
- 3 震災が起こったら、公助は行き届かない。
- 4 建物(住居等)の被害を想定しておく。
- 5 日頃から避難経路の確認や訓練など、災害に備える。



今回の震災では、津波警報が出ていたにも関わらず、避難に対する認識の差が咄嗟の判断に影響し生死を分けたことが説明され、避難訓練や、いざという時の行動シミュレーションなど、日頃の災害に対する知識や認識の重要性が示されました。

この度、太田英明教授研究室(栄養科学部)にマイクロプレートリーダーが設置されました。この装置は、経済産業省の地域イノベーション創出研究開発事業「微細化コンニャクグルコマンナンを用いた食機能増強食品の開発」(主管…(財)九州産業技術センター)の一環として本学に予算措置(315万円)され、導入されたものです。従来のマイクロプレートリーダーの機能に加えて蛍光分析できる機能を有し、たんぱく質の分析、酵素分析、ELISA法、ポリフェノール含量の一斉分析に適しています。本研究事業で、コンニャクグルコマンナンの食品色素に対する保護効果を調査するために使用しています。



マイクロプレートリーダー
(コロナ製 SH9000 lab)
が設置されました

白熱のプレーが炸裂!! 学友自治会主催 スポーツ大会

バスケットボール大会

平成23年12月10日、男女協力バスケットボール大会が本学体育館で開催されました。

12チーム144名の参加があり、寒い日でしたが、応援の歓声と選手のかけ声で会場は熱気に包まれました。相手にボールを奪われないよう、機敏な動きとチームワークでゴールを目指し、迫力ある試合が行われました。

このイベントは、学生の企画・運営によるもので、大学生活の思い出づくりや日頃の運動不足解消を目的として開催され、毎年の恒例行事となっています。



サッカー大会

平成23年11月26日、サッカー大会が田島グラウンドで開催されました。寒空にもかかわらず、男子チーム、女子チーム104名が出場しました。チーム一丸となってゴールまでボールを繋ぎ、シュートが決まった瞬間は歓声が上がりました。出場学生、応援学生ともに絆が深まる大会となりました。

ソフトバレーボール大会

平成23年11月13日、ソフトバレーボール大会が本学体育館で開催され、20チーム120名の学生が大会に参加しました。

単に優勝を目標に戦うだけでなく、ベストファッション賞を狙いユニフォームを統一したチームや、今回の大会のためにオリジナルのユニフォームを統一したチームもあり、個性あふれるユニフォーム姿に会場が盛り上がりました。



男の料理教室2011

平成23年12月17日、

栄養・調理学実習室において「男の料理教室2011」が開催されました。

この料理教室は、男子学生に調理を通して食育を学んでもらおうと食育推進委員が主催し企画されたものです。講師は、食育推進委員でもある食物栄養学科の内田和宏講師が務め、師範の後に参加者が、「麦ご飯」、博多の郷土料理の「がめ煮（筑前煮）」、「ほうれん草のおひたし」、「豆腐とわかめのみそ汁」にチャレンジしました。料理が初めての学生もいましたが、米のとぎ方、材料の洗い方、切り方、下茹での仕方など調理の基本を学び、悪戦苦闘の末どうにか作り上げることができました。待望の試食では、味付けが濃かったり、調味料を入れ忘れたり

とで映えもさまざまで、限られた時間の中で4品を作る難しさを痛感したようでした。



女子プロボクサー 黒木優子さん勝利

本学短期大学部食物栄養学科卒の黒木優子さん（女子WBCユース・アトム級王者）が12月25日、福岡市九電記念体育館にて世界ユースの防衛戦を行いました。今までの対戦相手の中で最強のOPBF東洋太平洋女子アトム級チャンピオンのアマラ・ゴーギヤットジム（タイ）と10ラウンド戦い、3-0という圧倒的な判定で勝利しました。今後の活躍が期待されます。



平成23年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)交付決定

独立行政法人日本学術振興会から交付される平成23年度科学研究費助成事業対象研究のうち、次の研究種目において採択されました。

研究活動スタート支援

- 【研究者】 向坂 幸雄 講師(幼児保育学科)
 【研究課題名】 行動形質は進化の原動力となるか
 【研究期間】 平成23～24年度
 【平成23年度交付額】 1,690,000円
 ※平成23年度交付額(直接経費+間接経費)

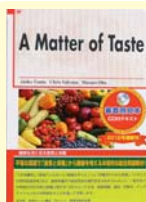
外部資金受入れ状況

受託研究

- 【研究者】 熊原 秀晃 講師(栄養科学部)
 【研究課題名】 中国帰国者の健康増進および Quality of Life の向上に資するサポートプログラムの開発に関する検討
 【企業名】 社団法人福岡県中国帰国者自立促進協議会
 【金額】 2,700,000円
- 【研究者】 甲斐 諭 教授(流通科学研究所・所長)
 【研究課題名】 黒大豆(筑前クロダマル)及び加工食品を核とした「筑前町産農産物のブランド化」のために必要な調査・研究
 【企業名】 筑前町
 【金額】 1,000,000円

研究助成

- 【研究者】 甲斐 諭 教授(流通科学研究所・所長)
 【研究課題名】 流通科学研究所活動支援
 【企業名】 九州機販株式会社
 【金額】 500,000円



「健康生活に見る食育と栄養 “A Matter of Taste”」

津田 晶子 食物栄養学科・講師
 大部 正代 栄養科学部・教授 共著
 (南雲堂 平成23年11月)



「『生きる力』を育む株式投資 教育と金融経済リテラシー」

新 茂則 流通科学部・教授 単著
 (中川書店 平成23年6月)



「国際化拠点大学における英語教育の ニーズ分析とカリキュラム開発」

津田 晶子 食物栄養学科・講師 単著
 (海鳥社 平成23年11月)



教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載
 (一)内は出版社 発行年月

社団法人全国栄養士養成施設 協会会長表彰



古賀 信幸 教授

平成23年11月、古賀信幸教授(栄養科学部)が、社団法人全国栄養士養成施設協会の会長から表彰を受けました。この表彰は、多年にわたり、栄養士・管理栄養士養成施設において教育に尽力され、多大な貢献をされた教員に対し贈られるものです。

栄養指導業務功労者 福岡県知事表彰



三好 恵美子 准教授

平成23年10月、三好恵美子准教授(栄養科学部)が栄養指導業務功労者として福岡県知事から表彰を受けました。これは、行政栄養士として広く福岡市民の健康増進、食育推進、疾病予防などの実行リーダーとして栄養改善事業に尽力し、顕著な功績があったと認められる者に対し贈られるものです。

久山町生活習慣病予防健診 功労者感謝状



城田 知子 名誉教授

平成23年10月30日、久山町生活習慣病予防健診50周年記念式典において、久山町から城田知子名誉教授へ、感謝状が贈られました。久山町は福岡市東区に隣接する町で、国内の脳卒中による死亡者数の多さを検証する目的で九州大学と共同で生活習慣病予防健診が実施されるようになり、今年で50年を迎えました。城田教授は長年久山町における栄養疫学研究に尽力されており、その功労が称えられました。

大学オリジナルグッズ販売 「鶏めしの素」



この度、新しい大学オリジナルグッズとして鶏めしの素の販売を始めました。鶏肉や野菜などこだわりの国産素材を使用した香り豊かな旨味が特徴です。炊きたてご飯にまぜるだけの手軽な商品で手土産にも好評です。丸善キャンパスショップ中村学園大学店で取り扱っていますので、ぜひ、ご賞味ください。

「4年生になって新しい挑戦ができたことは、私にとって大きな財産です」

大学生活の思い出づくりのために始めたフラダンス。

徐々にその魅力に惹かれた上野さんは、

より多くの人にフラの魅力を広めたい、もっとみんなとフラを楽しみたい

という思いから、フラダンスサークルを立ち上げました。

就職活動をしつつ、 フラダンスの練習に熱中

大学最後の一年、できる限り良い思い出を作りたい。4年生になって、そんな思いが強くなっていた昨年の5月、大学の掲示板で『RKBハワイまつり2011』に中村学園大学がフラダンスで参加することとなり、学生のメンバーを募集していることを知りました。新しい目標にするにはとてもいいタイミングだと思い、私が住んでいる曙寮の寮生を誘って参加することになりました。

それから9月に開催される本番まで、月に3回程度のペースで集中して練習を行いました。私の場合、就職活動との並行だったので大変な面もありましたが、同じ目標を持った仲間がいたことが励みになり、なんとか乗り切ることができました。そして、いよいよ本番。会場のアクロス福岡・シンフォニーホールには、想像以上に多くのお客さんが来られていて最初は驚きましたが、緊張することもなく、楽しくみんなで音楽に合わせて踊ることができました。

終わった時にはほっとした気持ちと、これでフラダンスとお別れするのと思う寂しさがありました。4カ月間の練習でフラダンスの素晴らしさがやっと分かってきた時でもありましたし、物足りなさを感じたのです。それで、ここまで一緒に頑張ってきた仲間ともしっかりフラダンスを追求したいという思いがこみ上げてきたのです。

フラダンスを大学に残したい。 そんな思いからサークルとして申請

ほんの数カ月前までは、全く関心がなかったフラダンスですが、ここまでフラダンスに打ち込みたくなるとは思っていませんでした。そんなフラダンスへの熱い想いが高じ、私が発起人となってフラダンスを大学の正式なサークルにしてみようという働きかけることになったのです。現在申請中ですが、正式に認められるのは私が卒業する頃になります。

フラダンスの魅力は、美しく表現し、見る方を和やかで心地よい気持ちにさせることです。サークルのみんながきれいに見せたいという同じ気持ちを持ちつつ、目標に向かって楽しみながらチャレンジすることは素晴らしいことだと感じています。4年生は私も含めて2人だけなのですが、これまでに多くの後輩と触れ合い、率先して行動する大切さも学ぶことができ、卒業前に後輩に受け継ぐ新しいサークルを作ることができて本当に良かったと思います。また、サークルには大学の職員の方々も参加されているのですが、普段お話しさせていたくことがない方々と交流できたこともとても有意義でした。

私は一般企業に就職が決まり、この春から社会人となりますが、フラダンスはこれからも趣味としてずっと続けたいと思っています。後輩の皆さんに伝えたいのは、在学中に自分がやったことがない世界にトライして欲しいということ。そこには、いろんな人との出会いがあり、きっと自分自身を大きく成長させてくれるものがあるはずです。



大学認定サークルとして、ますますの発展を願う上野さん



11月学園祭「霜月祭」ではオープニングで登場



フラダンスを初披露した「RKBハワイまつり2011」では観客から大きな拍手が



昨年は女子バレーボール部と一緒に佐賀で合宿、熊本・阿蘇へも旅行。



5部昇格を目指して奮闘中!今年の春、経験者、未経験者に限らずに多くの学生が入部してくることを期待しているとのこと。

クラブ & サークル

CLUB & CIRCLE

男子 バレーボール部

◎部員数/12名

◎部長/松延 拓弥
(流通科学部2年生)

「全員バレー」の練習を積み重ね、
春から始まるリーグ戦で躍進したい。

切磋琢磨しながら練習に励む、少数精鋭の男子バレーボール部。
春から始まるリーグ戦で好成績を残し、
さらに上のリーグへの昇格を目指しています！

ネット越しに打たれた力強いスパイクの音が体育館に響き渡る男子バレーボール部。部員は現在12名で、火・木・土の週3回活動しています。1回の活動時間は3時間半程で、毎回パス、レシーブ、トス、スパイクをひと通り練習しています。現在は大学九州リーグの6部に所属。当面の目標は春季リーグで優勝し、5部に昇格すること。今の時期は大会が始まるまで月日があるので先を見据えてレシーブを重点的に練習しています。

部長の松延拓弥さんは「レシーブが上手く上がらないと攻撃につながらないので、その点を今の強化ポイントにしています。ここには絶対的なエースがいるわけではないので、ボールを拾って拾ってというバレーをしたいです。チャンスボールをしっかりとセッターに渡し、そこでコンバで勝負したい。全員バレーでチーム力を向上させたいですね。チームが世代交代をしたばかりなので、まだ基礎練習が中心です。徐々に私の考えを部員全員に行き渡らせ、意志の疎通がとれた状態で春に臨みたいですね」と、その意気込みを



昨年11月、先輩の推薦で部長を務めることになった松延 拓弥さん。不安の中にも、自分が作りたいチームを作る楽しさもあるそう。

語ってくれました。

クラブの特長は、オンとオフの時間をしっかりと使い分けられていること。練習は真面目にしっかりとやり、練習後はみんなでワイワイ、一緒に食事することも多くあります。「先輩・後輩に関係なく、練習は一生懸命やっています。年に1回、親睦のための旅行にも行きますし、本当にメリハリのきいたクラブです」。

毎年2回、OBとの試合があり、先輩との交流も深めています。「私より10歳以上の先輩も来てくださいます。受け継がれている伝統があるクラブです。多くの先輩方の思いも大切にしながら、強いチームに成長させたいと思います」。

春のオープンキャンパス 2012
NAKAMURA
Open Campus Spring.2012

ナカムラではじまる、春

2012
3.17
10:00~15:30

TIMETABLE

		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
学部・学科相談コーナー	①10:00~12:00 ②13:00~15:00	→			→		
学生生活・就職・入試相談	10:00~15:30	→					
保護者対象入試説明会	11:40~12:30		→				
生徒対象入試説明会	11:40~12:30		→				
模擬授業(栄養系・教育系・企業系)	①10:30~11:20 ②13:30~14:20		→			→	
在学生との交流	①10:30~11:30 ②12:00~13:00 ③14:00~15:00		→	→	→	→	
クラブ・サークル紹介	11:00~13:00		→				
キャンパスツアー	①11:30~12:10 ②13:30~14:10		→				
寮の自由見学	11:00~15:00	→					

★模擬授業は3系統同じ時間帯に開催いたします。午前と午後で内容が異なります。
★このプログラムは予定です。変更やイベント追加などがありますので、詳しくはホームページなどで確認してください。



中村学園大学
中村学園大学短期大学部

【お問い合わせ先】 入試課/〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1
【TEL】 092-851-6762 (入試課直通)
【E-mail】 nyushi@nakamura-u.ac.jp 【URL】 http://www.nakamura-u.ac.jp/



地下鉄天神南駅から
9分という近さ。
都市部に位置し、利便性
もバツグンです。

駐車スペースがありませんので、
公共交通機関のご利用をお願い
いたします。

広報誌セロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料(2年分)として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封のうえ、学事課宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回(4・7・10・1月)となります。
※保護者の方には毎号送付しています。

【申込み先】

〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1
中村学園大学 学事課「広報誌定期購読申込」係